

公民館へ行こう！

松原公民館

松原町は標高 350 ～ 500 m に民家が点在する山の上の地域で、雄大な雲海が見られることで知られています。高齢化が進む中でも健康で安全・安心して暮らせる松原を目指して、まちづくり推進委員会などとさまざまな活動をしています。

子どもたちに楽しい思い出をつくってもらい、松原を好きでいてほしいとの思いから、地域学校協働活動推進員を中心に、松原小学校と連携して「まちたんけん」や「正月飾りづくり」などいろいろな活動をしています。また、学校の畑にサツマイモの



▲サツマイモの収穫

苗を植え、秋には収穫を楽しんでいます。大きく育ったサツマイモは校庭でもみ殻を使って焼き芋に！



ふくしまとしひさ
福島利久 館長

松岡地区のそばは昔からの名物で、そば打ち技術の伝承のため、年末に年越しそばを自分で打って食べてもらう教室を開いています。何回か経験した小学生が上手にそばを打つ様子は、上達しない自分には感動ものです。自分が打った分は持ち帰るのですが、コロナ前は先生が打ったそばも試食することができてとても楽しみでした。今年は復活できることを期待しています。



▲町民の皆さんによるそば打ち

☎松原公民館 ☎ 26-1001



災害時の支援に関する協定を締結

8月29日 高梁市役所

高梁市と協同組合ポルカと株式会社ジュンテンドーの3者において、洪水などの災害発生時における駐車場の一時利用に関する協定を締結しました。

この協定は、洪水などの災害発生時に、地域住民が保有する自家用車を一時的に避難させる場所および地域住民に生命の危険が生ずる恐れがある場合の緊急避難場所として屋上駐車場の利用を目的とするものです。

市長室からごんごんには

ある日の夜遅くに車で自宅へ帰っているとき、前方に黒く小さな動物の影が2つ見ええました。減速を始めたとき左からもう2つ。慌てて停めた車の前を、うり坊4頭と大人のイノシシ1頭が走り去っていきました。別の日、朝起きてみると道路脇ののり面が崩れていました。イノシシが夜中にミミズを求めて掘ったのかと思いますが、これまでも幾度となくこうした場面に出くわしました。猟友会の皆さんも駆除に力を入れていただいております、感謝の気持ちでいっぱいですが、被害はなくなっておりません。先日、岡山県市長会長として、県と市町村との有害鳥獣に関する協議の場に臨み、狩猟免許の取得支援や手続きの簡素化、シカの駆除に対する県補助金の復活(今は国と市で助成しています)などを求めて話し合いを行いました。なかなか良い返事はもらえませんが、市ではこれからは有害鳥獣捕獲等の支援を継続するとともに、免許取得などの支援策を拡充し、森林環境譲与税等の積極的な活用を図り、少しでも被害の減少につながる施策を展開していきます。

近藤隆則